

病院へ感謝の弁当贈る

松本



中村院長（中）らへ弁当を贈る井上会頭（左）

松本商工会議所（長野県）は2月17日、新型コロナウイルス感染症の流行が続く中、医療の最前

線で尽力している松本市立病院へ、弁当の差し入れを開始した。医療従事者に感謝と応援の気持ち

週1回、計1600食

月に最初のコロナ患者を

を示すとともに、苦境にある飲食店の支援になれ

ばと実施したもので、3月17日まで週1回、計5回にわたり弁当約1600食を届けた。

この取り組みには松本旅飲

事業者が、差し入れ当日の同病院の勤務人數分の弁当を用意した。

初回は幕の内弁当や懐石弁当など9店の弁当420個を差し入れ。弁当には「お体に気を付けて頑張ってください」などのメッセージを添えた。

この取り組みには松本旅飲

食団体協議会、松本山賊焼応援団の協力の下、松本市内の飲食店延べ70事業者が参加。毎回10～15

同病院は2020年2月に最初のコロナ患者を受け入れて以来、丸1年、県内で最も多くの感染者の治療に当たってきたと

いう。医療スタッフの中には家に帰れずホテル暮らしを余儀なくされた人もいた。中村院長は「激動の1年を何とか乗り越えられた。心温まる支援

が本当にありがたい」と話した。